

病害虫発生予察注意報第 1 号

佐賀県

作物名：果樹全般

病害虫名：果樹カメムシ類



1) 注意報の内容

発生地域：県内全域

発生量：平年より多い

2) 注意報発令の根拠

- (1) 県内3ヶ所に設置している予察灯のうち、小城市の予察灯において、9月第1半旬に果樹カメムシ類の誘殺数の急増を認めた（図1）。
- (2) 県内の一部の果樹園（カンキツ、カキ）において、9月上旬に果樹カメムシ類の飛来が確認された。
- (3) 8月下旬に行ったヒノキ毬果の調査では、一部の地点で果樹カメムシ類による吸汁がすでに進行した毬果が認められ、今後、果樹園へ飛来する恐れが高まっている（[8月31日付発生予察情報第6号参照](#)）。
- (4) 福岡管区气象台が9月1日に発表した九州北部地方の1ヶ月予報では、向こう1ヶ月の気温が平年より高いと予想され、果樹カメムシ類の発生に好適な条件となっている。

3) 防除対策

- (1) 地域や園地により飛来状況は大きく異なるため、園内外をこまめに見回り、早期発見に努める。
- (2) 果樹カメムシ類の果樹園への飛来を認めたら、早急に殺虫効果・吸汁阻止効果が高い合成ピレスロイド系薬剤、ネオニコチノイド系薬剤を散布する（表1）。
- (3) その他の防除対策は、県病害虫防除のてびきく水稻・大豆・果樹・茶（<http://www.pref.saga.lg.jp/kiji00322074/index.html>）の各果樹品目カメムシ類の項を参照する。

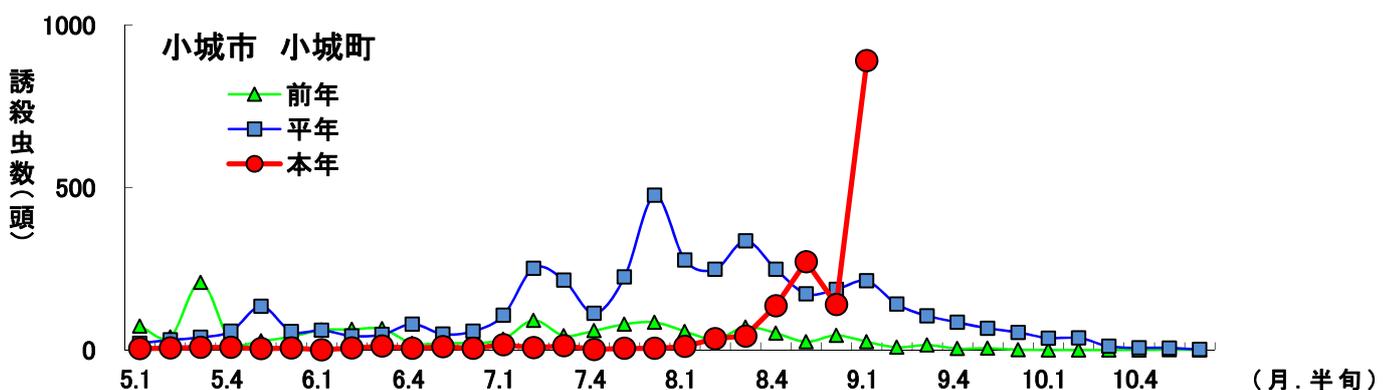


図1 小城市に設置した予察灯による果樹カメムシ類の誘殺数の推移

表 1 果樹カメムシ類に登録のある主要薬剤（佐賀県病害虫防除のてびきより抜粋）
【カンキツ】

系統名	農薬名	使用倍数	使用時期	使用回数	備考
合成ビ スロイト	テルスター水和剤	1000～2000倍	収穫前日まで	3回以内	カンキツで登録
	マブリック水和剤20	2000～4000倍	収穫45日前まで	2回以内	カンキツ (温州ミカンを除く)
			収穫21日前まで		温州ミカン
	MR. ジョーカー水和剤	2000倍	収穫14日前まで	2回以内	カンキツで登録
ロディー乳剤	2000倍	収穫7日前まで	4回以内	カンキツで登録	
材ニコチ イト	アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内	カンキツで登録

【ナシ】

系統名	農薬名	使用倍数	使用時期	使用回数
合成ビ スロイト	アグロスリン水和剤	1000～2000倍	収穫前日まで	3回以内
	テルスター水和剤	1000～2000倍	収穫前日まで	2回以内
	MR. ジョーカー水和剤	2000倍	収穫14日前まで	2回以内
材ニコチ イト	アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内

【カキ】

系統名	農薬名	使用倍数	使用時期	使用回数
合成ビ スロイト	アグロスリン水和剤	1000～2000倍	収穫前日まで	3回以内
	テルスター水和剤	1000～2000倍	収穫14日前まで	2回以内
	MR. ジョーカー水和剤	2000倍	収穫14日前まで	2回以内
材ニコチ イト	アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内

【キウイフルーツ】

系統名	農薬名	使用倍数	使用時期	使用回数
合成ビ スロイト	アディオソ乳剤	2000倍	収穫7日前まで	5回以内
材ニコチ イト	アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤	1000～2000倍	収穫前日まで	3回以内
	アドマイヤーフロアブル	2000倍	収穫前日まで	2回以内

注) キウイフルーツの品種によって使用する薬剤に制限がありますので、
栽培暦や関係機関の指導に従って防除を行って下さい。

【ブドウ】

系統名	農薬名	使用倍数	使用時期	使用回数
材ニコチ イト	ダントツ水溶剤	2000～4000倍	収穫前日まで	3回以内
	スタークル顆粒水溶剤	2000倍	収穫前日まで	3回以内
	アルバリン顆粒水溶剤			

※ 登録は平成28年9月8日現在。

※ 農薬を使用する際は、必ずラベルを読んで、使用できる作物であるか、使用濃度、使用量、
使用時期は適切か、使用回数は定められた回数を超えていないか等を確認する。